

「地域とともに輝く高校魅力化事業」について

令和6年6月27日
高校教育課

事業のねらい

- 県立高等学校と地域（市町村、小中学校等）が連携・協働し、生徒の学力向上や学校の特色化を図る取組を行うことで、生徒の進路実現を図り、地域に信頼され、中学生に選ばれる魅力ある学校づくりを推進するとともに、地域や中学生および保護者に学校の魅力発信を行う。

採択校

- 19校
中津南高校耶馬溪校、中津北、宇佐、宇佐産業科学、高田、国東、日出総合、由布、臼杵、海洋科学、津久見、佐伯豊南、三重総合、竹田、久住高原農業、玖珠美山、日田三隈、日田林工、安心院

事業の概要

- 対象
大分市、別府市以外の高校で、入学者確保の課題に地域と連携して意欲的に取り組む学校
- 期間
令和6年度から令和8年度（3年間）
※年度毎に申請が必要
- プロジェクト
A「地域の課題探究」プロジェクト
B「地域との連携強化」プロジェクト
C「地域への魅力発信」プロジェクト
※A、Cは必ず取り組むものとする。
※各高校は取組を支えるために、地元自治体や企業等の関係者からなるコンソーシアムを構築し、地域全体が学びの場となるように地域人材の発掘に活用する。

<令和5年度実績>

取組の具体例

中津南耶馬溪校

- 地域の活性化に関する課題発見学習、進路探究・社会探究→社会実装のための販売実習
- 地元小学校へのホテル授業、地元企業と連携しながらのホテル飼育→全国ホテル研究会での発表
- 地域との連携、交流→高齢者サロン「だいたいクラブ」での交流、サイクリングロードでの清掃活動

安心院

- 地元企業との連携による「発酵・醸造」をテーマとした探究学習→仕込み体験による発酵、醸造の学び
- 部活動や生徒有志による地域イベントへの参加→葡萄酒祭り実行委員会への参加、和太鼓部による演奏
- 商業部による産官学連携アップサイクル商品開発→酒粕を用いたチーズケーキの開発

高校入試結果

R5年度とR6年度の高校入試結果の比較から採択校19校のうち、
定員が充足した高校は2校、欠員が減少した高校は8校（うち4校が10名以上減少）

大学入試結果

R6年度大学入試において採択校19校中
総合型選抜・学校推薦型選抜での国公立大学現役合格15校93名（R5は12校98名）

○成果と●課題

- 地域資源を活用した課題探究学習の充実による高校の学びの特色づくりの推進
- 地域人材を活用したサポート体制の構築による地域や地元小中学校との連携強化
- 学校の取組や魅力について、地域や中学生、その保護者への情報発信の強化

令和6年度の重点的取組

令和6年度の魅力化事業では、採択校が学校PR動画の充実やSNS等を活用した
高校の魅力発信（C「地域への魅力発信プロジェクト」）の強化に取り組む。

R5年度高校魅力化推進事業に係る地域と連携した取組紹介

① 中津南高等学校耶馬溪校

地域・行政・NPOなどと連携したホタルの住む自然環境の考察、環境保全策の提言を行い、城井小学校と連携した合同ホタル授業（出前授業、放流式など）を実施した。

【R5年度「耶馬溪学」における城井小学校でのホタル授業】



【全国ホタル研究大会での発表】R6.6.7



耶馬溪校生徒による研究発表



研究大会には城井小学校児童も参加し、感想を発表

② 安心院高等学校

5年ぶりに開催された安心院葡萄酒まつりにおけるボランティア活動。
地元自治体の実行委員会にも参画し、計画立案から当日の運営まで地域とともに活動を行う。

【安心院葡萄酒祭りにおけるボランティア活動】



実行委員会に計画段階から参加



佐藤知事に葡萄酒まつりで安心院高校の取組を紹介



和太鼓部による演奏で祭りを盛り上げる



安心院観光バスツアーを企画し、当日はガイドも

③日出総合高等学校

地域の中学校で、各学科の生徒による出前授業を実施。高校で学んだ知識を活かし、各学科の紹介と中学生に向けた実習体験を行い、日出総合高校の魅力を発信した。

【地元中学校での出前授業】



各学科の生徒による学科紹介



農業経営科の寄せ植え体験



機械電子科のシーケンス機器を用いて早押しクイズ



総合学科（商業系列）のワープロ早打ち対決

④由布高等学校

地域資源を活用した「大分特産品を使った商品開発のアイデア創出の探究活動」「地域フィールドワークによる地域の課題解決策提案授業の取組」「高校生による地元小中学校でのドローンプログラミング授業」を实践

【商品開発のアイデア創出の探究活動】



大分の企業人からアイデア創出の方法を学ぶ。



最優秀のアイデアは「大分の名所・名産がプリントされたトイレトペーパー」として商品化

【地域課題解決策提案授業でのフィールドワーク】



湯布院を訪れた観光客へのアンケート活動

【地元中学生へのドローンプログラミング授業】



高校生が先生役となり中学生に授業を行う。

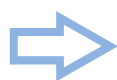
令和6年度 地域とともに輝く高校魅力化事業に係る採択校の主な取組

番号	学校名	申請プロジェクト	主な取組
1	中津南高校 耶馬溪校	A課題探究	■地域フィールドワーク、取材活動を通じて、地域の課題解決や地域活性化の提案を発信。
		B連携強化	■小学校と連携した合同ホテル授業、高齢者サロンの企画・運営・広報活動。
		C魅力発信	■地元ケーブルテレビとタイアップし定期的な情報発信。学校通信を近隣中学生・保護者に配布するとともに、回覧板を利用しての情報発信。
2	中津北高校	A課題探究	■大分大学教職大学院生とともにSDGsをテーマとした調査、分析、発表。哲学対話。
		B連携強化	■「中学校への里帰り授業」や「部活動スキルクリニック」「NKBサウンドクリニック」など中学校と連携した活動を強化。
		C魅力発信	■学校紹介・PR動画を作成・配信。スクールガイド等を作成し、中学生に配布。
3	宇佐高校	A課題探究	■地域資源を活用した「職業人に学ぶ」。宇佐市観光地でのインバウンドナビゲーター活動。
		B連携強化	■「高校生ティーチャー派遣」や「中高合同学習会」など中学校と連携した活動を強化。
		C魅力発信	■宇佐高校や地域の魅力を伝える動画を生徒が作成し、YouTube、SNS等で情報発信。
4	宇佐産業科学高校	A課題探究	■合鴨を使った無農薬農法による米をふるさと納税返礼品で出品。地元特産品や食材を使ったメニューを考案し、市政発展に貢献。
		B連携強化	■地元が主催するイベントと協働した「うささんマーケット」を開催。地元小中学校でのミニ四駆やソーラーラジコン体験会等の出前授業。
		C魅力発信	■学校の魅力や取組を伝える動画作成、SNSによる情報発信。
5	安心院高校	A課題探究	■「探究学習(地球未来科)充実プログラム」:地域資源の活用し「発酵・醸造」をテーマとした探究学習、アップサイクルによる製品開発。
		B連携強化	■「地域の学び創造・地域貢献プログラム」:地域の小中学生との交流授業実施。地域イベント等に部活動、希望者がボランティア参加。
		C魅力発信	■スクールガイド、説明会のフライヤー制作、ランディングページの更新。
6	高田高校	A課題探究	■「地域学」で地域の課題の解決策を探究・考察。
		B連携強化	■外部講師やスポーツ指導者を講師として招聘した「部活動」小中高合同練習会。「高田観光盆踊り大会」など地域の祭りや行事に参加。
		C魅力発信	■学校PR動画の制作、学校広報誌を市内及び近隣中学校に配布。
7	国東高校	A課題探究	■「宇宙STEAM探究」を通して、宇宙視点で地球の課題解決に取り組む。
		B連携強化	■地元食材で宇宙港にちなんだ料理を考案、地元飲食店に提案する「くにさき創生プロジェクト」。
		C魅力発信	■生徒の意見を反映させた学校紹介動画の作成。
8	日出総合高校	A課題探究	■地域防災の観点で探究活動を実施(総合学科)。栽培した花を地域に寄贈する「花いっぱい運動」、生産物の即売会(農業経営科)。
		B連携強化	■地元婦人会と協力して商品開発や販売を行う(商業部、家庭部)。地域と連携したボランティア活動。
		C魅力発信	■学校通信を定期的に近隣中学校・役場・企業等へ配布。学校紹介ビデオ製作。
9	由布高校	A課題探究	■「防災」「高齢化」「観光」「産業」等をテーマに、地域を中心にフィールドワークを行って課題の解決策を探究する。
		B連携強化	■「ドローンプログラミング」「神楽教室」「射撃体験教室」等、小・中学生に新たな学びの場を提供。地元のイベントにボランティアとして参加。
		C魅力発信	■学校行事や授業を中心とした学校PRポスターの製作。
10	臼杵高校	A課題探究	■ユネスコ食文化創造都市に認定された臼杵市と連携したエバンジェリスト活動。
		B連携強化	■市内小中学校での生徒の学習サポーター活動、母校訪問。
		C魅力発信	■学校の魅力・特色を伝える映像DVD作成。生徒会と協力して、学校の情報をSNSで発信。
11	海洋科学高校	A課題探究	■未利用魚や新製品開発等、地域の課題を探究する課題研究を実施。
		B連携強化	■ローイング部やヨット部の体験乗船会、水産生物部の生物展示等、地域の小中学生の学びにつながる活動を実施。
		C魅力発信	■学校PR動画の作成・発信。体験入学案内のチラシ製作。
12	津久見高校	A課題探究	■津高生が地域を「守る」プロジェクト:SDGsおよび防災/減災の視点で、DX手法による地域課題解決の探究
		B連携強化	■津高生が「創り、繋ぐ」プロジェクト:地元小中学校への出前授業。自治体、地元企業と連携した「ふるさと振興祭」等での販売実践。
		C魅力発信	■津高生「わく ² ツタエル」プロジェクト」出身中学校ごとに各中学校(後輩)へ向けたPR動画を作成、HPへの掲載。学校PRのCM作成。
13	佐伯豊南高校	A課題探究	■アイデアソン等により地域課題の発見・解決に向けた探究活動を実施し、4学科合同学習成果発表会で地域創生の提案。
		B連携強化	■小中学生対象の豊南アカデミー(出前授業)実施。コーチングキャラバンによる部活動の連携。
		C魅力発信	■学校紹介PR動画を制作。
14	三重総合高校	A課題探究	■地域の活性化や問題解決に向けた探究活動・課題研究を実施。「地場産業担い手促進」プロジェクトで地場企業見学会・説明会の実施。
		B連携強化	■地元小・中学生にイネ、イモの栽培・収穫等実技指導を実施。神楽部、演劇部、吹奏楽部による出前講演、地域イベントへの参加。
		C魅力発信	■各学科、部活動、学校行事等に関する動画を製作し、各種説明会やケーブルテレビなどで放映。
15	竹田高校	A課題探究	■フィールドワークや発表会を通じて地域密着型学習(TCP)の提言を実行。
		B連携強化	■各運動部による地域の子どもたちへ参加体験型スポーツ講座。器楽部出前コンサート、書道部・美術部の地域イベントへの参加。
		C魅力発信	■「竹高レポート」高校の日常生活をレポート形式でまとめ、地域の中学校や住民に紙媒体で配布。
16	久住高原農業高校	A課題探究	■地域農業の課題と解決策を学ぶ取組(農業大学校、農業系大学キャンパス訪問)、先進農家でのアグリ研修等。
		B連携強化	■郷土伝統芸能の継承と祭りへの参加。全国和牛能力共進会へ向けた取組、伝統作物である岡大豆を活用した味噌の製造技術の継承。
		C魅力発信	■学校での活動に密着取材、DVD化やYouTube等のSNSによる情報発信。
17	玖珠美山高校	A課題探究	■「HANEプロ発表会」の実施による地域課題解決学習、地域に貢献する人材を育成。
		B連携強化	■地域の中学校との部活動合同練習会を実施。生徒が中学校を訪問して、学習サポート。
		C魅力発信	■VR、パノラマツアー等の学校紹介コンテンツを作成、HPで公開。
18	日田三隈高校	A課題探究	■生徒の探究力育成を目的とした地域と協働による「学ぶシリーズ」実践
		B連携強化	■各種イベント(三隈マーケット、ファッションショー、商品開発等)の企画、参加、実施。こども園への訪問。
		C魅力発信	■ポスターを年4回制作、公共施設や商店等に掲示。ショート動画を複数制作し、HPやSNSで配信。
19	日田林工高校	A課題探究	■「林工版SDGs」プロジェクト:地域の課題解決に向けた探究活動、学科の特色を生かした課題研究。
		B連携強化	■「林工地域貢献プロジェクト」:「ひた千年あかり」ボランティア活動、「林工塾」開催。
		C魅力発信	■「林工魅力発信プロジェクト」:出前授業や体験教室を実施。生徒による中学校への終礼訪問や高校説明会の実施。

(文部科学省)高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)採択校について

【国の動向】

- ◆ 国としては大学教育段階で、デジタル・理数分野への学部転換の取組が進む中、その政策効果を最大限発揮するためにも、高等学校段階におけるデジタル等成長分野を支える人材育成の抜本的強化が必要
- ◆ 高等学校段階でデジタル人材を育成するための、**ICT機器の環境**や、**外部人材の活用**が必要
- ◆ 普通科にも、情報活用能力について学習する機会と併せて、先端のICT機器を活用した体験的な学びの機会が必要



高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)

【本県における取組】

- ◆ **ICT機器の活用による情報活用能力の育成**
 - 「R6年度 高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)」に **12校** が採択 補助上限額 1,000万円/校
中津南、安心院、国東、別府鶴見丘、大分上野丘、大分雄城台、大分西、情報科学、爽風館、津久見、三重総合、竹田
- ◆ **事業支援**
 - ・情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともにICTを活用した文理横断的な探究的な学びを強化するための必要な環境を整備
(支援対象例)ICT機器整備(ハイスペックPC、3Dプリンタ等)
動画・画像生成ソフトウェア、理数教育設備整備
 - ・デジタル人材を育成するための支援員派遣(委託)

【イメージ】

- (取組1)普通科高校へのデジタルものづくり環境整備
(総合的な探究及び課外活動等で使用)
- (取組2)専門高校への情報関係機器整備
例・3Dプリンター及びレーザー加工機、カッティングプロッタの活用
⇒総合的な探究の時間(課題研究)におけるプロトタイプ
作成、アイデアの具現化
- ・災害時に水車を利用して、携帯電話の充電や照明の発電を行うために様々な形状の水車を制作し、発電量を比較する。



(3Dプリンタを活用した水車の制作)

【採択校の主な取組内容】

- ・「総合的な探究の時間」等におけるデータサイエンスやAIの活用
- ・学科の専門を図り、学科間の連携によるデジタルものづくりの推進
- ・小型ロケット登載の通信装置を活用した通信装置の研究
- ・外部の専門人材を活用したデータサイエンスに関する研修や授業
- ・プログラミング学習教材による文理横断的・探究的な学びの確保